7　第２次試験

⑴　試験種目　人物試験（人物試験は、個別面接により行う。）

なお、人物試験の参考とするため、性格検査を行う。

⑵　試験の実施日　平成27年７月22日（水）から８月10日（月）までの間の指定する日

⑶　試験地　別記２のとおりとする。

8　最終合格者発表　平成27年８月25日（火）に、受験番号及び試験地を、第１次試験合格者発表の方法と同一の方法により発表する。

なお、合格者には書面で通知する。

9　採用候補者名簿及び採用方法　試験の区分（地域試験の区分を含む。以下同じ。）ごとに採用候補者名簿を作成し、最終合格者の氏名を得点順に記載する。採用は、これらの名簿に記載された者の中から行う。

10　受験手続

⑴　受験の申込み及び申込受付期間　受験希望者は、国家公務員採用試験インターネット申込専用アドレスにアクセスして申込手続を行うこと。（申込専用アドレス〔http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html〕）

申し込むことができる試験の区分は一つに限る。なお、受験の申込みの受理後における試験の区分及び試験地の変更は認めない。ただし、第１次試験の試験地の変更については、災害又は転居によりやむを得ないと認められる場合に限り、試験の実施に支障がない範囲で認める。

申込受付期間は、平成27年４月９日（木）９時から４月20日（月）までとし、４月20日（月）までに申込データの受信を完了したものに限り受け付ける。

なお、インターネットが利用できない環境にある受験希望者で、受験申込用紙の交付を受けた者は、受けようとする第１次試験の試験地に対応する次の申込先に郵送又は持参により平成27年４月９日（木）又は４月10日（金）に提出すること。郵便又は信書便による申込みは、平成27年４月10日（金）までの通信日付印のあるものに限り受け付ける。

| （第１次試験の試験地） | （申込先） | | |
|---|---|---|---|
| 札幌市 | 人事院北海道事務局 | 〒060―0042 | 札幌市中央区大通西12丁目 |
| 盛岡市、仙台市、秋田市 | 人事院東北事務局 | 〒980―0014 | 仙台市青葉区本町３－２－23 |
| さいたま市、習志野市、東京都、新潟市、長野市 | 人事院関東事務局 | 〒330―9712 | さいたま市中央区新都心１－１ |
| 静岡市、名古屋市、金沢市 | 人事院中部事務局 | 〒460―0001 | 名古屋市中区三の丸２－５－１ |
| 京都市、大阪市、神戸市 | 人事院近畿事務局 | 〒553―8513 | 大阪市福島区福島１－１－60 |
| 松江市、岡山市、広島市、山口市 | 人事院中国事務局 | 〒730―0012 | 広島市中区上八丁堀６－30 |
| 高松市、松山市 | 人事院四国事務局 | 〒760―0068 | 高松市松島町１－17－33 |
| 福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市 | 人事院九州事務局 | 〒812―0013 | 福岡市博多区博多駅東２－11－１ |
| 那覇市 | 人事院沖縄事務所 | 〒900―0022 | 那覇市樋川１－15－15 |

⑵　受験票の交付　受験の申込みを受理した場合は、受験票を交付する。

受験票には、本人の写真１枚を貼り、第１次試験の際に必ず持参すること。

11　点字及び拡大文字による試験等

⑴　試験の区分「行政」について、視覚障害のため活字印刷文による受験ができない者には、点字による試験（パソコンによる音声読み上げを補助として併用できる。）を行う。

点字試験の試験地は、６⑶及び別記２の１にかかわらず、札幌市、仙台市、さいたま市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高松市、福岡市及び那覇市とする。

⑵　全ての試験の区分について、視覚障害の程度により、拡大文字による試験、試験時間の延長等を行う。

12　その他

⑴　受験手続その他受験に関する問合せは、人事院の地方事務局又は沖縄事務所に行うこと。

なお、インターネットによる申込みに関する問合せは、人事院事務総局（〒100―8913　東京都千代田区霞が関１－２－３）に行うこと。

⑵　提出書類等の所要事項は正確に記入又は入力すること。

⑶　受験に際し、身体に障害があるため特に何らかの措置を希望する者は、申込時にあらかじめその旨を申し出ること。

⑷　試験の詳細については、別に作成している受験案内、人事院のホームページ等を参照すること。

**別記１**

専　門　試　験　出　題　分　野　一　覧

専門試験（多肢選択式）

| （試験の区分） | （出題分野） |
|---|---|
| 行政 | 政治学、行政学、憲法、行政法、民法（総則及び物権）、民法（債権、親族及び相続）、ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学・経済事情、経営学、国際関係、社会学、心理学、教育学、英語（基礎）及び英語（一般）のうち、受験者の選択する８科目 |
| 電気・電子・情報 | 工学に関する基礎、電磁気学、電気回路、電気計測・制御、電気機器、電力工学、電子工学、電子回路、通信工学及び情報工学 |
| 機械 | 工学に関する基礎、材料力学、機械力学、流体力学、熱工学、機械設計、機械材料及び機械工作 |
| 土木 | 工学に関する基礎、構造力学（土木）、水理学、土質力学、測量、土木材料、土木設計、土木施工、土木計画、環境工学（土木）及び衛生工学 |
| 建築 | 工学に関する基礎、構造力学（建築）、建築構造、建築材料、建築施工、環境工学（建築）、建築設備、建築史、建築計画、建築法規及び都市計画 |
| 物理 | 物理、応用物理及び地球物理 |
| 化学 | 数学、物理、物理化学、分析化学、無機化学、有機化学、生物化学、工業化学及び化学工学 |
| 農学 | 栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥料学・植物生理学、畜産一般及び農業経済一般 |
| 農業農村工学 | 数学、水理学、応用力学、土壌物理、土質力学、測量、農業水利学、土地改良、農村環境整備、農業造構、材料・施工、農業機械及び農学一般 |
| 林学 | 林業政策、林業経営学、造林学、林業工学、林産一般及び砂防工学 |